

学校において予防すべき感染症一覧表

平成29年4月

◆ 第1種 : 治癒するまで出席停止

エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎(ポリオ) ジフテリア
重症急性呼吸器症候群(SARS) 鳥インフルエンザ(H5N1型) 新型インフルエンザ等感染症 新感染症 指定感染症※

※指定感染症…すでに知られている感染症であって、症状の重症度や感染力から、その感染症の蔓延を防止するために入院勧告を行う必要がある疾患。
厚生労働大臣が政令により1年間に限定して指定する。

◆ 第2種 : 疾病により、出席停止期間が異なる

病名	出席停止期間	主な症状	感染経路	感染期間	予防方法
インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1型)を除く)	発症した後5日を 経過し、かつ解熱後 2日を経過するまで	悪寒、頭痛、高熱、 倦怠感、筋肉痛	飛沫・接触	発熱1日前から 発熱後7日	うがい、手洗い、マスク、予防接種
百日咳	特有の咳が消失、 または5日間の適切な 抗菌薬療法が終了するまで	連続して止まらない咳、 発熱することは少ない	飛沫・接触	発症後28日	予防接種
麻疹 (はしか)	発しんに伴う発熱が 解熱した後、 3日を経過するまで	眼の充血、涙、めやに、 鼻水、くしゃみ、発熱、口内 の頬粘膜にコプリック班 (白い斑点)	空気・飛沫	発熱2日前から 発しん 出現後4日	予防接種
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺・顎下腺・舌下腺の 腫脹が発現後5日経過し かつ全身状態が 良好になるまで	耳下腺・顎下腺・舌下腺 の腫脹	飛沫・接触	腫脹7日前から 腫脹後9日	うがい、手洗い、マスク、予防接種
風しん (3日はしか)	発しんが消失するまで	発熱、ピンク色の発しん、 頸部リンパ節等の腫脹・圧痛	飛沫・接触	発しん出現 7日前から 出現後7日	うがい、手洗い、マスク、予防接種
水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹が 痂皮化する (かさぶたになる)まで	紅班、丘しん、水ぼう、膿ほ う、かさぶたの順に進行する 発しん、かゆみ、疼痛	空気・飛沫	発しん出現 2日前から 全て痂皮化	予防接種
咽頭結膜炎 (プール熱)	主な症状(発熱、咽頭炎、 結膜炎等)がなくなった後 2日経過するまで	高熱、咽頭通、頭痛、食欲不 振、結膜充血、流涙、めやに	飛沫・接触	発症後2～3週	手洗い、うがい、プール前後のシャワー
結核	病状により学校医 その他の医師が 感染の恐れがない と認めるまで	初期は自覚症状なし →倦怠感、寝汗、微熱、咳 →発熱、呼吸困難、咳 →高熱、頭痛、嘔吐、痙攣	空気・飛沫		BCG接種 レントゲンによる早期発見
髄膜炎菌性 髄膜炎	症状により学校医 その他の医師が 感染の恐れがない と認めるまで	発熱、頭痛、意識障害、嘔吐	飛沫・接触	有効な治療 開始後24時間	手洗い

◆ 第3種 : 病状により学校医その他医師において感染のおそれがないと認めるまで出席停止

病名	出席停止期間	主な症状	感染経路	予防方法
コレラ	病状により学校医 その他の医師が 感染の恐れはないと 認めるまで	水様性下痢と嘔吐、 脱水症状	経口	手洗い
細菌性赤痢		発熱、腹痛、下痢、嘔吐	経口	手洗い
腸管出血性 大腸菌感染症		水様性下痢、腹痛、血便	接触・経口	手洗い、消毒、食品加熱
腸チフス		継続する発熱、発しん	経口	手洗い、消毒、食品加熱
パラチフス				
流行性角結膜炎 (プール病)		結膜充血、まぶたの腫脹、 異物感、流涙	飛沫・接触	手洗い、タオル等共有しない
急性出血性 結膜炎		結膜出血、結膜充血、流涙、 まぶたの腫脹、異物感	飛沫・接触・経口	手洗い、めやに・分泌物等に触れない タオル等共有しない
その他の感染症	条件によっては 出席停止になる	伝染性赤斑 手足口病 ウイルス性肝炎 マイコプラズマ肺炎 ヘルパンギーナ 流行性嘔吐下痢症(感染性胃腸炎) 溶連菌感染症 ヘルペス(症状による) 等		